

2024年10月2日  
株式会社三菱UFJ銀行

## 株式会社丸井グループと「サステナビリティ・リンク・ローン」を成約

株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 ほんざわ じゅんいち 半沢 淳一）は、株式会社丸井グループ（代表取締役社長 あおい ひろし 青井 浩）との間で、ローン・マーケット・アソシエーション<sup>[1]</sup>等が定めたサステナビリティ・リンク・ローン原則に即した、「サステナビリティ・リンク・ローン」によるタームローン契約（以下、本ローン）を締結いたしました。

サステナビリティ・リンク・ローン原則では、借り手のサステナビリティ目標と連携したサステナビリティ・パフォーマンスターゲット（以下、SPT）を設定し、金利などの貸付条件とSPTに対する借り手のパフォーマンスを連動させ、SPT達成への動機付けを与えることで、環境的・社会的に持続可能な経済活動および経済成長を促進し、支援することを目指します。

本ローンにおいては、以下のSPT達成状況に応じて利率が変化します。

KPI	： CDP 気候変動スコア（CDP スコア統合後は統合後のスコア）
SPT	： 達成判定までの期間にわたり CDP 気候変動スコア A-以上を維持 （CDP スコア統合後は統合後のスコア A-以上を維持）

株式会社丸井グループは、「お客さまのお役に立つために進化し続ける」「人の成長＝企業の成長」という経営理念に基づき、「すべての人が『しあわせ』を感じられるインクルーシブな社会を共に創る」ことをミッションとしています。2019年に策定した「丸井グループビジョン2050」では、サステナビリティと Well-being に関わる目標を「インパクト」として定義し、「将来世代の未来を共に創る」「一人ひとりの幸せを共に創る」「共創のエコシステムをつくる」の3つの目標を達成すべく、主要な取り組み項目を中期経営計画の主要 KPI として設定しています。本ローンを通じ、世の中の変化に対応して、環境・社会・ガバナンスを重視する ESG を踏まえた、未来志向の「本業＝社会へのお役立ち」の取り組みを進めていきます。

### 【本ローンの概要】

契約締結日	2024年10月2日
貸出人	株式会社三菱UFJ銀行
組成金額	100億円
資金使途	運転資金

また本ローンは、サステナビリティ・リンク・ローン原則に準拠している旨、DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社より第三者意見書を取得している「三菱UFJ銀行グリーン及びサステナビリティ・リンク・ファイナンスフレームワーク」に則って実行しています。

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループは、「MUFJ Way」の中で「世界が進むチカラになる。」を存在意義（パーパス）と定め、持続可能な環境・社会の実現に向けて、お客さまをはじめとする全てのステークホルダーの課題解決のための取り組みを進めています。引き続き、お客さまの ESG の取り組みを支援し持続的な成長を後押しすることで、環境・社会課題の解決に貢献してまいります。

[1] 欧州、中東、アフリカのシンジケートローン市場の流動性、効率性、透明性を改善することを目的とした協会。英国に本拠地を置き、欧州・中東を中心に 65 ヶ国以上約 800 機関が加盟。

以 上